JA兵庫みらい女性会かべ新聞

女性が元気！地域が元気！

8月号VOL.26

三木連絡協議会
眠っている着物をリフォームしよう

女性会三木連絡協議会（稲葉淑美会長）は7月13日、JA兵庫みらい女性会の多目的室で、一日体験の着物リフォーム教室を行いました。

この教室は三木連絡協議会が、着物を何かに役立てたいと、金井育子さんに講師を依頼し開催しました。4人が参加し、金井さんに質問をしたり、互いに作業工程を確認しながら、それぞれの作品に挑戦しました。

参加者の寺本淑江さんは「タンスの肥やしになっていた着物がもう一度自分のものになって嬉しいです。今後定期的に教室に参加して、いろんな作品を作っていきたいです」と笑顔で話していました。

JA兵庫みらい女性大学
生活習慣病を予防するには…

JA兵庫みらいと同JA女性会は7月20日に、第3回目となるすみれ（エンジョイコース）の女性大学を本店3階大会議室で開校し、受講生25人が参加しました。

この日は、在宅栄養士の村上貴美子先生を講師に招き、旬の野菜の特長や食材の活用方法などを学びました。受講生は質問を交えながら熱心に話を聞いていました。

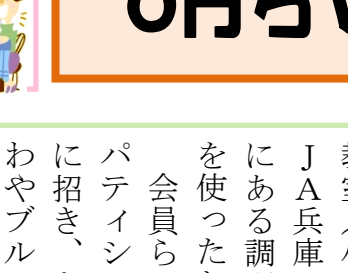
受講生は「先生のお話はどれも目からウロコなものばかりでした。これからは、旬の食材を上手に食していきたいです」と話していました。

三木連絡協議会
オリジナルの
ベジタブルスイーツが完成

女性会三木連絡協議会お菓子作り教室（小西康美代表）は7月6日、JA兵庫みらい女性会の多目的室内にある調理室で、キュウリとお味噌を使ったお菓子作りを行いました。

会員ら7人が参加した教室では、パティシエの田村千鶴子さんを講師に招き、きゅうりみそのムース、びわやブルベリーなど5種類のフルーツソースを作りました。

会員らは基本のムースのレシピを元に意見を出し合い、材料の割合を決めたり、生クリームを泡立てたりアレンジしながら、約1時間半で出来上がりました。



参加者は「いろいろ試行錯誤して作ったが、上手に出来上がって良かったです。完成したレシピは第9回ザ・地産地消 家の光料理コンテストに応募するので、結果が楽しみです」と話していました。

JA兵庫みらい女性大学
浴衣着付けで夏美人

JA兵庫みらいと同JA女性会は7月13日に、第3回目となるひまわり（フレッシュコース）の女性大学を三木市久留美支店で開校し、受講生14人が参加しました。

この日は、岩崎きもの着付け学院学院長の岩崎和子さんを講師に招き、浴衣の着付けに挑戦しました。最初に、モデルを見本に浴衣の着方や着崩れしないコツなどの説明を聞いた後、受講生はそれぞれ持ち寄った浴衣や小物を使って着付けを体験。互いに教え合ったり、帯の結び方をアレンジしたりしながら着こなしを楽しんでいました。会場は夏の涼しい雰囲気に包まれました。

岩崎さんは「着付けはすっきりときれいに見せることが大事です。学んだことを家でも練習して、夏ならではの浴衣を楽しんでほしいです」と呼び掛けていました。

受講生の前川祥子さんは「今まで自分で着ることができなかったので、今日はとてもうれしいです。浴衣を着て祭りに行きたいです」と笑顔で話していました。

ちゃぐりんフェスタで
うちわとデザートを作ったよ

女性会（稲葉淑美会長）は7月23日、同JA本店でちゃぐりんフェスタを開催しました。

親子31名が参加したフェスタでは、うちわ作りと桃のムース作りにチャレンジ。参加者は、女性会役員らによる指導のもと、親子で協力しながらうちわ作りと桃のムース作りを楽しみました。

昼食には、炊きたてのご飯と同会役員らが作ったGOPANに好きな具材をはさんだり、乗せたりして美味しそうに頬張っていました。

参加者は「うちわ作りは、ただ無地のうちわにイラストを描くだけでなく、用紙の型どりや貼り付けまでできて楽しかった。ムースも美味しくできたので家でまた作ってみます」と話していました。

JA兵庫みらい女性会かべ新聞　8月号　平成23年8月1日（毎月1日発行予定）　編集・発行／営農部営農振興課